

Rotary



インスピレーションに
なろう

2018~2019 年度

国際ロータリーテーマ

インスピレーションになろう

国際ロータリー会長 バリー・ラシン
第2790地区ガバナー 橋岡 久太郎
第7グループ
ガバナー補佐 高山 義則
東金ロータリークラブ会長 古川 秀夫
" 幹事 並木 孝治

東金ロータリークラブ 概要

Togane RC Information

創立 1959年9月15日
R I 承認 1959年10月17日
例会日 火曜日 12:30~13:30
例会場 東金商工会館4階
Makeup fee ¥2,000
WEB <http://www.togane-rc.jp/>
事務所 ☎283-0068
千葉県東金市東岩崎1-5
東金商工会議所内
TEL 0475-52-1101(代)
FAX 050-3730-2559
E-mail info@togane-rc.jp

第60巻第5号 通巻第2803号

第2827回 例会

2018年(平成30年)8月7日

12:30点鐘 商工会議所4階例会場

Program

開会宣言・点鐘	古川 秀夫 会長
歌	「君が代」「奉仕の理想」
四つのテスト唱和	並木 孝治 幹事
お食事	かしま
会長挨拶	古川 秀夫 会長
幹事報告	並木 孝治 幹事
お誕生祝	並木 孝治 会員
米山奨学金授与	アニス・コイルン・ニサさん
スピーチ	アニス・コイルン・ニサさん
活動計画発表	
委員会報告	
ニコニコBOX発表	親睦委員会
出席報告	管理運営委員会
閉会宣言・点鐘	古川 秀夫 会長



第 2826 回 例会の記録 <7月 31 日>

会長挨拶



古川 秀夫 会長

今日は暑い中共同通信社の久江様、千葉日報の堀井様、ようこそおいで下さいました。

先週私は西日本の豪雨の話をしましたが、今週は朝日新聞の「天声人語」に書かれていることをご紹介します。その昔、人間の気質は体温で決まると考えられていた。熱血漢は体温が高く、寒冷地の人間は全て低体温だと、ヨーロッパで思っていたそうです。命がけの9人の欧州の紳士が、自分の体で、人は何度も高温に耐えられるかを試したそうです。127°Cまでだそうです。本当でしょうか？直接触れれば火傷をしますが、ともかく127°Cまで耐えられて、その室内に7分、留まることが出来たそうです。であっても、人の体温は37°Cを超えないそうですね。風邪などで体温が上がることがありますが、外からの熱に対しては37°Cを超えない。汗が出ることによって体温の調節をしているそうです。それ以降、欧州では体温計をよく使うようになったとも書いてありました。

先週23日に私は会社から東京に車できました。会社の中も暑かったのですが、車を降りましたら、サウナ風呂に入ったような暑さでした。車についている室外温度の表示は

37°Cで、私が体験した一番高い温度だったと思います。

過去に、私が「暑いな」と感じたことは二度あって、一度は大阪で花博があった時に京都のホテルから出かけたら、メガネかけている方はメガネが曇り、蒸し風呂のようでした。京都の夏は暑いと言うが、本当に暑かったです。

もう一度は山形の天童で。この時は最上川下りをしました。河の中を船でゆったりと下り、見ていると涼やかですが、乗ってみたら暑いのなんの。船の下からの照り返しと、上からの直射日光。風が追い風で、ほとんど無風に感じるんです。船頭さんが気をきかせてくれて、向きを教えてくれまして、風上に向かうようにしたら、とても涼しかったです。これが二度目の、忘れられない暑さの思い出です。長いこと日本の最高温の記録を持っていたのが天童だったそうです。その時は地面のアスファルトが緩むほどの暑さでした。

日本の暑さはあと一週間から十日ほど続くようです。ぜひ、お気をつけ頂きたいと思います。皆さんで、頑張って乗り越えていきましょう。

幹事報告



並木 孝治 幹事

- 第7グループ（旧第6分区）情報研修会
9月19日（水）大網中部コミュニティセンターにて
- ガバナー事務所・ガバナーエレクト事務所
8月13日～17日夏期休暇

卓話



久江雅彦 様

共同通信社は全国の新聞、テレビ、ラジオ、ネットメディア、そして海外へニュースを配信しています。その中には日々の生ニュースのほか、特集記事やコラム、社説なども含まれています。今回の講話のきっかけになりました「平成をあるく」という企画は週一回、加盟社に配信し、今年末までに計五十本に上ります。

この企画は平成時代に起きたさまざまな事象とそれに関与した人々を取り上げる内容で、オウム真理教事件や北海道拓殖銀行の破綻、北朝鮮のミサイル問題など森羅万象に及びます。私は館山市の安房高から大学を経てメディアの世界に入りました。その間、防衛省や外務省、ワシントン

支局などで主に安全保障の取材に携わってきました。「カンボジア国連平和維持活動（PKO）」を取り上げた理由は、米ソ冷戦の終焉をはさみ、日本の来し方、行く末を占う大きな分岐点と位置づけられるからです。

1990年に起きた湾岸戦争の直後、日本は「国際貢献」を求められました。百家争鳴の議論の果てに、イラクに侵攻されたクウェートに日本は135億ドルの資金を拠出しました。しかし、国際社会からは「カネだけ出して、血も汗も流さない」と批判され、クウェート政府が新聞に載せた感謝する国々の一群に「JAPAN」の文字はありませんでした。日本の外務省に「湾岸トラウマ」が広がり、人的な貢献を模索します。

その結果、PKO協力法が成立して、第一弾が記事で執筆したカンボジア総選挙への自衛官と文民警察官の派遣でした。自衛隊にばかり注目が集まり、文民警察官は死角でした。高田晴行警視がなぜ命を落としたのか。そこには憲法および法律と現実の大きな溝が存在したからにほかなりません。



自衛官であれ、文民警察官であれ、憲法の規定により、正当防衛と緊急避難を除いて武器を使用できません。この制約は今も続いている。相手が「国または国に準ずる者」の場合は「武器使用」ではなく「武力行使」となります。端的に言えば、これは戦争を意味します。その是非は置くとして、先の大戦に敗戦した後にできた今の憲法は「戦争放棄」を謳い、日本の軍事面における国際貢献には大きな制約が課せられているのが現実です。

他方、さしたる自然資源を持たない日本には資金援助のほか、医療や教育、国造りのソフトパワーでの国際支援に優位性があります。湾岸トラウマは今も根強く残っていますが、自らの得意分野で国際社会に貢献していく道を探る「日本モデル」を追求していくことも大切だと考えています。

カンボジアでは7月末の総選挙で、フン・セン首相の与党・カンボジア人民党が完勝しました。5年前の前回総選挙で4割を超す票を得た野党の救国党は解党に追い込まれ、政権に批判的なメディアは弾圧されています。このため、国際社会は、今回の選挙を「自由・公正」とかけ離れたものだと批判しています。フン・セン首相の独裁体制がいっそう強まっているのです。それを支えているのは中国からのカネ、モノの積極的な援助にほかなりません。

日本のPKO参加で民主国家への道を歩み始めたかに見えたカンボジアは、中国との関係をさらに強化していくと思われます。日本にとっては歯がゆい状況です。ただ、国家間のパワーゲームが激しさを増

しているがゆえに、国籍にこだわらずに奨学生を育てていくロータリーの理念が逆に際立つと思います。日本の理解者を地道に広げ、それぞれの国造りの担い手を育てるに重要性はこれからますます強まっていくでしょう。

例会予定のご案内

- 8月 ······
7日 例会
14日 夏期休会
18日(土) やっさフェスティバル清掃奉仕
21日 振替休会
28日 卓話 東金税務署長 小松孝 様
9月 ······
4日 例会
11日 創立記念例会
18日 祝日週休会
19日(水) ロータリー情報研修会
25日 祝日週休会
10月 ······
2日 ガバナー補佐公式訪問
9日 祝日週休会
16日 振替 →18日へ
18日(木) ガバナー公式訪問
23日 振替 →25日へ
28日(日) 地区大会
30日 祝日週休会

7月 31日

会員数 17名

出席率 94.12%

コイン BOX 1,713 円

ニコニコ BOX